

令和2年度 三浦市総合計画審議会（第1分科会） 議事録

- 【日 時】** 令和2年7月16日（木）14：00～16：40
- 【場 所】** 三浦市役所第2分館第1会合室
- 【出席者】** 岡本一朗委員、草川晴夫委員、杉野幸雄委員、鈴木清委員、鈴木金太郎委員
出口眞琴委員、長嶋崇委員、長島満理子委員
- 【関係職員】** 安藤水産課長、下里農産課長、斉藤観光商工課長、盛永財産管理課長、立石
営業開発課長、小林市長室特定事業推進担当課長、徳江市長室長、澤口市長
室特定事業推進G L、中西都市計画課都市政策担当課長、深瀬都市計画課都
市計画G L、矢尾板政策課長

【次 第】

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) 座長の選出
 - (2) 三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について
 - (3) 会議録の公表手続きについて
 - (4) その他
- 3 閉 会

【議事録】

1 開 会

事務局（木村政策部長）

- ただいまより、三浦市総合計画審議会第1分科会を開催する。

2 議 題

(1) 座長の選出

事務局（木村政策部長）

- 昨年度、座長を務められた近藤委員が退任したので、今年度の座長を選出する。選出方法については、事務局より案をお願いする。

事務局（矢尾板政策課長）

- 分科会の座長については、事務局からの推薦が慣例であるので、昨年度の座長の後任にあたる岡本委員を座長に推薦する。

事務局（木村政策部長）

- 事務局からの提案があった岡本委員を座長に推薦することよろしいか。

一同

- 了承

事務局（木村政策部長）

- それでは、岡本委員に座長をお願いします。

（２）三浦みらい創生プラン（総合戦略）重点施策等の外部評価について

岡本座長

- それでは、議題２の外部評価のうち、三浦みらい創生プラン（総合戦略）の重点施策の外部評価について、事務局より説明をお願いします。

事務局より、外部評価について説明（説明略）

岡本座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。なければ、実際に評価を進めていく。
- 評価については、説明する担当課の関係上、施策No.3-1、3-2、3-3、1、2、14の順で進める。
- 本評価は、市民を代表して市の施策について評価するものである。今後の三浦市の発展に向けて、是非忌憚のない意見をお願いします。
- ではまず施策No.3-1について、説明をお願いします。

安藤水産課長より施策No.3-1「水産業・農業・商工サービス業の振興（水産業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

鈴木清委員

- まずは高度衛生管理に向けての市の取組については、感謝申し上げます。
- 水産業の現状であるが、新型コロナウイルスの影響で、ありとあらゆる分野で状況が狂い始めている。その対策として市独自の緊急経済対策により支援頂き、感謝申し上げます。
- また、県外のかつお一本釣り漁船誘致のためのトップセールスの取組は今後も必要な取組と感じている。今後も変わらぬ力添えをお願いします。

出口委員

- 平成30年度まで冷凍マグロの取扱量が減っているのは、国際的漁獲規制や不漁による商材不足と原因がはっきりしている。そして令和元年度は46トン増えていると説明があったが、今後はどうなっていく見込みか。

鈴木金太郎委員

- 三浦は、販売力が段々なくなってきている。これから伸びるとするのは少し難しい

と感じている。

- 良くなるためには、販売網を増やすことを考えなければならない。
- 船は呼べば来る。しかし船を呼んできても値段がつかない状態である。高く売れるような状態を作れると良い。そのためには、加工場をつくるなど、物を売って流通させる水産業の人材を育てていくような取組が必要である。静岡などは、加工から始めてそういう人材を育てて来たから強い。

出口委員

- 今後の課題としては、人材をどの様に育てていくかと販路をどう拡大していくかだと思う。

安藤水産課長

- 民間の支援として輸出に向けた研修等の取組を行っている中で、なかなか皆様に興味を持ってもらうことが難しく、人材を育てる難しさを感じている。今後は興味を持ってもらう仕組みづくりを検討していきたい。

鈴木清委員

- 新型コロナウイルスの影響もあり、加工業者も含め、弱気で投げやりな言葉しか耳にしな。そういう状況になっているので、1日も早く対策をお願いしたい。

岡本座長

- 事業費予算であるが、他の施策と比べ大きい額を計上しているが、執行率が50%となっており約13億円残っている。これは、何かやろうとしていた事が出来なかったのか、何か原因があるのか。

安藤水産課長

- 市場の工事を行っているが、進捗が遅れたためであり、繰越をして令和2年度に残りの工事を行っているところである。

長嶋委員

- KPIの分析であるが、市場の高度衛生管理化を行ったのに、単価は下がっているということか。

鈴木金太郎委員

- 相場で単価は下がる。

長嶋委員

- 衛生管理されているというプラスアルファがあるにも関わらず相場だから単価が落ちてしまうとなると、今後は、水揚げ量を増やすことを目的とするのか、売上を上げることを目的とするのか、どちらを目指すのか。

鈴木清委員

- 両方同時に目指したい。

事務局（星野副市長）

- 今までは漁港の整備をして、水揚量を上げる、そしてマグロ船、かつお船をたくさ

ん誘致する、これは量の話である。しかし事業者としては、それだけではなく単価を上げないといけない。その一つの手法として、高度衛生化を行った。高度衛生化を行ってなかったらどうだったかは、数値的にはわからない。しかし高度衛生化を行っていなかったら、数値はもっと下がっていたかもしれない。だが今は、新型コロナウイルスの影響もあり、それよりも増して数値は下がっている。そこをもっと考えて取り組むべきという意見と捉えている。三崎漁港は県が管理している漁港であり、県は漁港の整備を行っている。それだけでは足りないので、ハード整備と市が行っている市場の整備とそのほかの加工施設も含め全体の連携を取り一緒に進めていく必要があるため、県とも協議を行って取り組んでいる。

鈴木金太郎委員

- 漁業関係者の収入が少なくなった部分を補てんしてあげたり、新たに組合員に入れてあげるなどをしていかないといけない。

事務局（星野副市長）

- 単価を上げること、漁獲高を上げること、これはバランスが色々ある。漁獲高が上がれば単価が下がる可能性もある。魚を取る方、売る方等全部連携して進めていかなければならないと考える。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。
- また、主な意見欄についての記載の概要を事務局から願います。

事務局（矢尾板政策課長）

- 主な意見については、新型コロナウイルスの影響を踏まえて事業を行う必要がある、加工場を作るなど物売って流通させる水産業の人材育成と販売網の拡大にむけて取り組むことを検討されたい、トップセールスの取組は継続して行う必要がある、という3点を主な意見として記載したいと思うがよろしいか。

一同

- 異議なし

岡本座長

- 次に施策No.3-2について、説明をお願いします。

下里農産課長より施策No.3－2「水産業・農業・商工サービス業の振興（農業関係）」
について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

長島委員

- トップセールスの今後の取組であるが、国内大手食料品企業と協力して、三浦野菜を活用した商品開発を進めるとあるが、具体的にはどのような開発を進めていくのか。

下里農産課長

- 春キャベツをソースの中に取り込んだレトルト食品を試作して頂いている。その試作品を試食して頂いた方からのアンケート結果を集計して、さらなる商品開発に向けて進んでいるところである。またその企業からは、さらにスープの開発を三浦産の野菜でシリーズ化したいという話があり、具体的には、カボチャ3種類（こだわりカボチャ、プッチーニ、コリンキー）とカブとトウモロコシであり、三浦市内の生産者に繋いで開発を進めているところである。

長島委員

- その取組に使用する野菜は、規格外のものを使っての取組なのか。

下里農産課長

- 今回については、規格外だけでは足りなかったもので、規格内の野菜も活用している。

長島委員

- 毎年、野菜の値段も上下して、安い時はダイコンを破棄していることも多かったと思うが、そういった対策の取組の一環として、この取組を行っているのか。

下里農産課長

- その様に捉えて頂いて構わない。近年は、三浦市農業協同組合もカット野菜としての加工品用としての活用に積極的に取り組んでいる部分もあり、以前よりは残渣は少なくなっている。しかし、令和元年度は、長雨による病気の野菜が発生したため、これは加工品にも使えないため破棄することとなった。

長島委員

- 今後も商品開発に力を入れて頂きたい。また今は、通信販売もあるのでそういった販路も拡大していただきたい。

杉野委員

- 三浦市農業協同組合としては、規格外品を商品化していくこともありがたいが、昨今、漁業の話でも価格が上がらない課題があったが、野菜もやはり正規品でも価格が上がる取組を重視していく必要がある。
- それからK P Iの分析であるが、ダイコンの単価が前年より高価であったとあるが、これは一昨年の価格が安すぎた部分があるので、雀の涙みたいなものである。

またスイカについても冷夏であったため伸びず、漁業もそうであるが天候に左右される部分が多い。そのため正規品であっても加工品やレトルト食品にシフトしていくことも必要と思っている。

下里農産課長

- ご指摘のとおり、農業は天候に左右されることが多く、以前よりK P Iの農業産出額については、議論がある。後継者の育成や、商品の付加価値の向上に向けて、やれる事を研究し、取り組んで参りたい。

長嶋委員

- 農業次世代人材投資事業であるが、給付金を交付することが、就農意欲の喚起には結びつかないと思う。農家の就農意欲は野菜が売れた時初めて就農意欲が芽生えるのではないか。初期段階の支援であれば、給付金ではなく、例えば農機具を貸し出すとか、補助金的な方法で、お金が何に使用されたかまで追いかけるべきではないか。

下里農産課長

- この給付金は、就農したから単にお金を差し上げるものではなく、1年間の売り上げに応じて、給付額が変動する。生活が出来る基準額を超えた場合には給付されない。つまり、1年間働いて、生活が出来る基準額に満たなかった場合に、補てんされるものである。新規就農から5年目までの給付金であり、それまでに自立していただく制度である。

草川委員

- 有害鳥獣被害対策事業であるが、捕獲実績は毎年このくらいの件数なのか。市域外から有害鳥獣が来るため県へ働きかけをするとあるが、県にどのような要望をするのか。

下里農産課長

- 令和元年度は、9件減少しているが、平成30年度は63件増加している。県への要望であるが、市域外である逗子市、葉山町、横須賀市で出没しているイノシシの事である。これを水際で止めようというのが一つである。もう一つは、タイワンリスの被害対策であり、藤沢市や鎌倉市まで市域をまたいで生息しているが、各市町の独自の対策だけであり、県は防除計画を作成していない。そのため県としての防除計画の作成を要望している。何年も要望した結果、令和3年度には計画が作成される見込みである。

出口委員

- トップセールスであるが、11月に東京3社、2月に東北3社訪問し、成果が上がっているが、これは行ったから成果が出る一過性のものでなく、継続することが大事だと思うが、どうか。

下里農産課長

- 平成17年度から毎年行っているが、今後も継続する予定である。今まではこちらからのお願いが主であったが、最近では、市場から、こうしてほしいというリクエストが多くなっている。それに対してどの様に対応していくかが課題となっている。毎年同じ場所に行っても仕方ないので、西は京都から北は北海道までをローテーションにより、訪問している。

出口委員

- ローテーションで回ることによって継続性を持たせるということか。

下里農産課長

- その通りである。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。
- また、主な意見欄についての記載の概要を事務局から願います。

事務局（矢尾板政策課長）

- 主な意見としては、商品開発を行い、通信販売等を活用し販路を拡大していく必要がある、規格外も正規品も含めて加工品にシフトしていくことを検討されたい、野菜の価格が上がる取組を検討されたい、トップセールスは一過性なもので終わらず継続性を持たせる必要がある、以上の4点を主な意見として記載したいと思うがよろしいか。

一同

- 異議なし

岡本座長

- 次に施策No.3-3について、説明をお願いします。

齊藤観光商工課長より施策No.3-3「水産業・農業・商工サービス業の振興（商工サービス業関係）」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

長島委員

- 要望であるが、住宅リフォーム助成事業について、新型コロナウイルスの影響を受

けて、中小企業等の売上が減少している事もあるため、対象の幅を広げて各店舗の改修も含めてはどうか。

盛永財産管理課長

- 店舗の改修は課題としては受け止めているが、まずは需要の高い住環境のみを対象として取り組んでいる。新型コロナウイルスの影響であるが、工事をする業者も影響を受けているため、それも含め検討していきたい。

岡本座長

- 金融機関として、事業承継、事業の継続について重要な課題として取り組んでいる。事業承継の中には、M&A等含めて様々あると思う、また新型コロナウイルスの影響もあるため、是非セミナー等開催する機会を増やして頂きたい。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は達成しているため、「5」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。
- また、主な意見欄についての記載の概要を事務局から願います。

事務局（矢尾板政策課長）

- 主な意見としては、住宅リフォーム助成事業については、店舗改修も対象となるよう検討されたい、事業承継の支援の取組は、セミナー等開催する機会を増加して取り組んで頂きたい、以上2点を主な意見として記載したいと思うがよろしいか。

一同

- 異議なし

岡本座長

- 次に施策No.1について、説明をお願いします。

立石営業開発課長より施策No.1「農業、漁業、観光業の連携による観光振興」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

出口委員

- これからの事になるが、誘客を目的に取り組んでいくと思うが、お客様に来てもらうのか、感染症対策をどの様に行うのか、新型コロナウイルスの影響をどの様に捉えていくか。

事務局（星野副市長）

- G o T oキャンペーンの議論がされているが、市としての判断は勿論考えるが、やはりその前に県の判断、国の判断があり、方向性を一致させて取り組まなければならない。たくさん来てくださいとどの時点で言えるか正直まだ見通しが立っていない。日々状況は変化しているため、状況の変化を見極めながら、お客様を受ける民間の方々の意見を聞きながら取り組みたい。
- 三浦海岸や城ヶ島公園にはヨーロッパ系の外国の方が増加しているという情報がある。これも今までにはなかった傾向なので、様子を見ながら取り組んでいきたい。

長島委員

- 受け入れる側の各店舗の対策としては、県のガイドラインに沿って三浦市も啓発を行うのか。

事務局（星野副市長）

- 各店舗の対策の手法については、ステッカーを貼る等様々あると思うが、いずれにしても地元の商店街の皆様や関係者の皆様と連携して協議を行いながら取り組んで参りたい。

草川委員

- 観光協会としては、当然多くのお客様に来ていただくことを目的としているが、それよりも地元を守りたい気持ちがある。すごく難しいところであるが、イベントはどの様な方向で進められていくのか。もう初日の出のイベントについても考えていかなければならない時期である。イベントのガイドラインはまだ無いのか。

事務局（星野副市長）

- 今のところ明確になっていない。状況を見ながらの判断となる。

岡本座長

- K P I のグラフを見ると、観光客は増えているが、消費額が横ばいである。消費して頂く施策を検討して頂きたい。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。
- また、主な意見欄についての記載の概要を事務局から願います。

事務局（矢尾板政策課長）

- 主な意見としては、新型コロナウイルスの影響を踏まえ事業に取り組む必要があ

る、観光客消費額を伸ばす施策を検討されたい、以上の2点を主な意見として記載したいと思うがよろしいか。

一同

- 異議なし

岡本座長

- 次に施策No.2について、説明をお願いします。

徳江市長室長より施策No.2「経営支援・企業誘致」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

鈴木清委員

- 多目的活用事業用地の話であるが、事業は前進しているのか。

徳江市長室長

- 株式会社安田造船所と興和株式会社の2社により、合弁会社であるエスパシオミサキマリンリゾート株式会社という会社が設立された。今後この会社が主体となってもまずは1年かけて事業計画を作成し、その後事業を実施していく予定である。また新型コロナウイルスの影響で計画が遅れる可能性もある。
- 北公園については、神奈川県から管理権限の委譲を受ける予定で、11月1日から三浦市の管理となり、指定管理者により管理する予定である。
- みうら漁協にご協力頂いている浮棧橋に関しては、今、海上の調査を進めており、12月の設置に向けて調整を進めている。

鈴木清委員

- 浮棧橋について、何かあってからでは遅いので、地元への情報提供を逐次お願いします。

徳江市長室長

- 承知した。

出口委員

- 多目的活用事業用地について、土地売買契約が出来た事は、これまで取り組んできた努力が実ったことであり、大きな成果である。
- 水産関連事業用地であるが、地元で1者契約しており、引き続き学校法人1者とも協議を行っていただき企業誘致に取り組んでいただきたい。
- 二町谷が三浦市の大きな課題であった。それが動き出した事は非常に良い傾向である。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標は一部達成しており、課題改善の取組が明確であるため、「4」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。
- また、主な意見欄についての記載の概要を事務局から願います。

事務局（矢尾板政策課長）

- 主な意見としては、浮棧橋の設置に関しては、地元への情報提供を逐次願います、多目的活用事業用地について土地売買契約出来た事は大きな成果である、以上2点を主な意見として記載したいと思うがよろしいか。

一同

- 異議なし

岡本座長

- 次に施策No.14について、説明をお願いします。

中西都市計画課都市政策担当課長より施策No.14「広域幹線道路整備」について資料に基づき説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。

事務局（星野副市長）

- 今説明があったが令和2年8月に三浦縦貫道路（先行整備区間）が開通する。当初、初声方面への交通の流れを予測していたが、三浦海岸方面への交通の流れも多くなることが予想される。物流や観光振興など様々な分野に影響が出る可能性がある。開通後、様々なご意見があると思うため、その際は是非意見を上げて頂きたい。

岡本座長

- それでは、この事業の外部評価をさせていただく。
- 目標はすべて未達成であるが、課題改善の取組が明確であるため、「3」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。
- また、主な意見欄についての記載の概要を事務局から願います。

事務局（矢尾板政策課長）

- 主な意見は、特になしとしたいがよろしいか。

一同

- 異議なし
-

岡本座長

- 次に、議題2の外部評価のうち、地方創生に係る交付金事業の評価について、事務局より説明をお願いします。

事務局より、交付金事業の評価について説明（説明略）

岡本座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。なければ、実際に評価を進めていく。
- それでは、資料7について説明をお願いします。

矢尾板政策課長より、資料7について説明（説明略）

岡本座長

- 今の説明に質問、意見があるか。
- 特段なければ、この事業の外部評価をさせていただく。
- K P I 達成状況は芳しくなかったが取組が前進・改善したとしており、地方創生に効果があったため、「2」としたいがよろしいか。

一同

- 了承

岡本座長

- それでは、そのように決定する。
- また、主な意見欄についての記載の概要を事務局からお願いします。

事務局（矢尾板政策課長）

- 主な意見としては、先ほどの施策評価の意見より抜粋し、意見として記載したいと思うがよろしいか。

一同

- 異議なし
-

岡本座長

- 次に、現実実施計画（第1期総合戦略）の総括について、事務局より説明をお願いします。

事務局より、現実実施計画（第1期総合戦略）の総括について説明（説明略）

岡本座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等あるか。

出口委員

- 高齢化率が高いことが決して悪いことではない。元気な高齢者が多いということである。
- 出生率や若い人の転出については、子育て環境を充実していく必要がある。
- コロナ禍の中で、都心で仕事をしている方も仕事の仕方が変わってきている。人口増加を目指す施策のターゲットの一つとして、テレワーク層は、三浦市は位置的にも良いと感じる。

杉野委員

- 出生率であるが、人口が減少している中、目標の1.27は妥当だったのか。

事務局（木村政策部長）

- 目標を設定した段階では、まず1.27より低い数値であった。国の目標が2.07という高い目標であり、その目標に一気にいくというのは当然考えられないため、段階的に上げていこうと考えた。その途中経過としての目標数値が1.27であった。

杉野委員

- 三浦市は、お産する場所がないので、若い人は、三浦市に住みたくないという気持ちになってしまうと思う。出生率を上げるのであれば、お産は大変な事であるため、もっと市として考えていかなければならない。移住してくる人もお産が終わった人しか来ないと考える。産婦人科をなんとかしないと、出生率の目標達成は困難であると考ええる。

事務局（木村政策部長）

- 市としても重要な課題だと捉えているが、現在の日本の医療環境からすると、三浦市に産科を設置することは非常に困難な状況であり、横須賀市で産んでもらえるように進めているが、ご指摘は仰るとおりなので、三浦市内に産科が出来ないまでも、皆様に産みやすい環境を整えることに取り組んで参りたい。

杉野委員

- 是非、環境の改善に取り組んで頂きたい。

長嶋委員

- PDCAサイクルであるが、どこの市町でも同じような事をやっていて、これは、失敗しないやり方を模索している。この計画に対してどうしたら失敗しないかのチェックを、今行っている。
- そうではなくて失敗を公に出すことによって、外部からの評価や応援をもらえるようになれば良い。
- この計画は手堅い内容と感じる。もっと突飛な事をプランとしてやってもいいの

では、と感じた。

岡本座長

- 移住定住をテーマに金融機関として三浦半島で何か出来ないか検討している。先ほど出口委員の話にもあったコロナ禍での働く環境の変化もチャンスとして捉えられればと思う。
- また、みなとみらいが今すごく発達している。京急沿線で座って行けて1時間くらいで着いてしまう。みなとみらいをマーケットにして事業展開すると良いと考える。
- 葉山町は、コロナ禍で住宅ローンが増えている。そういう環境下であるので、同じ三浦半島内の三浦市も良い施策を展開して頂ければと思う。

(3) 会議録の公表手続きについて

岡本座長

- 次に、「会議録の公表手続きについて」、事務局より説明をお願いします。

事務局

- 本日の審議会以降、審議会を開催する予定がない。そこで、今回の審議会の議事録については、事務局で案を作成して各委員へ配布し、修正すべき点等を指摘いただき、それらを踏まえた修正を行ったうえで、座長一任で議事録を確定し、その後、ホームページでの公表という手続きにしたいと考えている。

岡本座長

- ただいまの説明に対し、質問・意見等はあるか。なければ、お諮りする。
- 「会議録の公表手続きについて」、事務局からの説明のとおり決定してよろしいか。

一同

- 異議なし。

岡本座長

- それでは、そのように決定する。

(4) その他

岡本座長

- 次に、その他について、事務局より何かあるか。

事務局（矢尾板政策課長）

- 特にない。

3 閉会

岡本座長

- 以上で本日の議題は全て終了した。ここで、事務局に進行を戻す。

事務局（木村政策部長）

- 本日は、出席いただき感謝申し上げます。
- また、貴重な意見をいただき感謝申し上げます。皆さんの貴重な意見を生かし、より良い事業へ見直していきたいと思う。
- 以上をもって、令和2年度三浦市総合計画審議会第1分科会を終了する。